

100回目を迎えた分子科学フォーラム

分子科学フォーラムは、今を去ること20年以上前の1996年に「分子科学の内容を他の分野の方々や一般市民にも知らせ、また、幅広い科学の話を分子研の研究者が聞き、自身の研究の展開に資するように」との趣旨のもとに、豊田理化学研究所との共催事業としてスタートした。シカゴ大学岡武史教授による「星間 H_3^+ の発見」と題した第1回講演を皮切りに、以来、年6回のペースで実施され、白川英樹先生（第32回講演、ノーベル化学賞受賞直後の2001年3月に実施）を含む多数の著名な研究者の方々や、豊田理化学研究所理事長の豊田章一郎氏（第28回、2000年9月）やジャーナリストの立花隆氏（第43回、2003年2月）にもご講演頂いている。

2008年度より、一般市民の方々に科学の面白さ・楽しさを伝える「市民公開講座」として新たに位置づけられ、改定第一弾の第75回には特別企画として「水とアルコールと人生」とのタイトルのもと、サントリー水科学研究所長の樋口直樹氏ならびにサントリーチーフブレンドの奥水精一氏にご講演頂いた。講演前にはウイスキーの試飲会も開催され、市民の方々と研究者の交流の場となった。引き続き2009年度からは一層の充実を目指して講演回数を年4回に変更し、環境問題評論家の富山和子氏による講演（第81回、2009年5月）や、サイエンス・ジャーナリストの尾関章氏・古田彩氏による座談会形式での開催（第97回、2013年5月）など、新しい企画を実施してきた。また、毎年1回は企業の研究者ならびに分子研の研究者に担当頂くこととして、バラエティに富んだ企画となるように努めている。おかげさまで、地域に根差した公開講座として広く認知されてきたようで、毎回、多数の市民の方々にご参加頂いている。

この伝統ある分子科学フォーラムも、2014年1月31日、めでたく通算第100回を迎えることとなった。講師には東京理科大学学長の藤嶋昭先生をお招きし、「空はなぜ青いか一身のまわりにはおもしろいことが多い」というタイトルでご講演頂いた。藤嶋先生は、言うまでもなく酸化チタンの光触媒作用（いわゆる本田・藤嶋効果）の発見者として高名だが、若い世代に科学の面白さを伝えることにも力を注がれており、子供向けを含む多数の解説書を執筆されている。今回の講演でも、酸化チタン粉末の懸濁液によるチンダル現象を実演頂き、空気中の分子・粒子によって太陽光が散乱されるために「青い空」や「赤い夕焼け」が見られることを、分り易く説明頂いた。白色LEDの光がきれいに「青」や「赤」に分離するのを目の当たりにして、会場の岡崎コンファレンスセンター大会議室を埋め尽くした聴衆の皆さんも感心しきりであった。さらに、科学の意義は「より良い社会を築くことにあり」とのお言葉や、イタリヤ・ルネッサンス期や日本中世仏教史を例として「良い友・師」が文化を大きく発展させる力となること、さらには、ご自身の光触媒効果発見の顛末やその後の光触媒応用の広がり、また、現在、新しく取り組まれているダイヤモンドを利用した光触媒機能の開発まで、様々な話題を自在闊達に語り尽くして頂いた。講演の終わりには、科学に関する質問を広く会場内から受け付けて、丁寧かつ洒脱に回答頂いた。その際、質問者の皆さん一人一人に藤嶋先生の著書（サイン入り）がプレゼントされた。

第100回講演会は、追加の椅子を多数準備する必要があったほどの盛会で



益川 敏英先生のご講演は岡崎市民会館で開催。大ホールが観客で埋まりました。



第100回では藤嶋先生をお招き、盛大な会となりました。



村山先生のご講演は岡崎コンファレンスセンターがあふれるほど大盛況でした。

あった。参加者総数は200名を軽くオーバーしていたであろう。そのなかには、隣接する岡崎高校のご協力により参加頂いたスーパーサイエンス部の皆さん数十名も含まれる。高校生諸君は講演終了後も藤嶋先生を囲んで熱心に質問し、また、快く記念撮影に応じて頂いて、大変に感激の面もちであった。小学生以下の小さなお子さんの参加もあり、真っ先に質問に立っていたのは微笑ましくも頼もしい限りであった。「分子科学フォーラム」が地元岡崎で「科学の芽を育む」働きを着実に果たしていると実感できた瞬間であった。

最後になりますが、ご多忙にも関わらず快く講演をお引受け下さった藤嶋先生、ならびにこれまでの講師の方々、毎回、熱心に会場につめかけて下さる市民の方々、会の運営を支えて下さる所内職員の方々、全ての皆さんに心より御礼を申し上げます。

(大島 康裕 記)

講演者一覧 (所属は講演当時のものです)

1996年

- 1 岡 武史 (シカゴ大学教授)
- 2 江橋 節郎 (生理学研究所名誉教授)
- 3 K. P. Dinse (ゲームスタット工科大学教授)
- 4 中嶋 貞雄 (超伝導工学研究所)
- 5 大塚 榮子 (北海道大学教授)
- 6 Daniel Auerbach (IBM)
- 7 井口 洋夫 (分子科学研究所名誉教授)
- 8 柳田 敏雄 (大阪大学教授)
- 9 豊沢 豊 (東京大学名誉教授)
- 10 戸田美三夫 (愛媛大学教授)
- 11 Ian Munro (マンチェスター大学教授)
- 12 齋藤 修二 (分子科学研究所教授)
- 13 工位 武治 (大阪市立大学)
- 14 郷 通子 (名古屋大学教授)
- 15 諸熊 奎治 (エモリー大学教授)
- 16 入江 正浩 (九州大学教授)
- 17 霜田 光一 (東京大学名誉教授)
- 18 伊藤 光男 (分子科学研究所長)
- 19 森 重文 (京都大学教授)
- 20 岩田 末廣 (分子科学研究所教授)
- 21 益川 敏英 (京都大学基礎物理学研究所長)
- 22 飯島 澄男 (NEC)

2000年

- 23 近藤 保 (豊田工業大学教授)
- 24 天谷 喜一 (大阪大学教授)
- 25 家 正則 (国立天文台教授)
- 26 西島 和彦 (仁科記念財団理事長)
- 27 中村 宏樹 (分子科学研究所教授)
- 28 井口 洋夫 (分子科学研究所名誉教授) 豊田章一郎 (理化学研究所理事長)
- 29 伊藤 正男 (理化学研究所)
- 30 廣田 榮治 (総合研究大学院大学長)
- 31 黒田 晴雄 (東京理科大学教授)
- 32 白川 英樹 (筑波大学名誉教授)
- 33 和田 昭允 (理化学研究所)
- 34 秋光 純 (青山学院大学教授)
- 35 十倉 好紀 (東京大学教授)
- 36 上坪 宏道 (高輝度光科学研究センター)
- 37 高野陽太郎 (東京大学助教授)
- 38 永山 國昭 (岡崎国立共同研究機構統合バイオサイエンスセンター教授)
- 39 北川 禎三 (岡崎国立共同研究機構統合バイオサイエンスセンター教授)
- 40 木下 實 (東京大学名誉教授)
- 41 川崎 恭治 (九州大学名誉教授、中部大学名誉教授)
- 42 石丸 典生 ((株)デンソー相談役)
- 43 立花 隆 (ジャーナリスト)
- 44 小林 速男 (分子科学研究所教授)
- 45 Heinrich Rohrer (元IBMフェロー)
- 46 川合 知二 (大阪大学教授)
- 47 坂東 昌子 (愛知大学教授)
- 48 福山 秀敏 (東北大学教授)
- 49 玉尾 皓平 (京都大学教授)
- 50 松井 真二 (姫路工業大学教授)

- 51 鷺田 伸明 (豊橋技術科学大学教授)
- 52 箕浦 秀樹 (岐阜大学教授)
- 53 増原 宏 (大阪大学教授)
- 54 井元 信之 (大阪大学教授)
- 55 平田 光司 (総合研究大学院大学教授)
- 56 田中 晃二 (分子科学研究所教授)
- 57 清水 信義 (慶應義塾大学医学部分子生物学教授)
- 58 桜井 弘 (京都薬科大学・教授)
- 59 山内 薫 (東京大学大学院理学系研究科化学専攻・教授)
- 60 野田 進 (京都大学工学研究科電子工学専攻・教授)
- 61 森田 浩介 (理化学研究所前任研究員)
- 62 御園生 誠 (東京大学名誉教授・前日本化学会会長)
- 63 石川 哲也 (理化学研究所播磨研究所 放射光科学総合研究センター 副センター長)
- 64 田中 良和 (サントリー先進技術応用研究所シニアスペシャリスト)
- 65 霜田 光一 (東京大学名誉教授・日本物理教育学会会長)
- 66 北川 進 (京都大学大学院工学研究科教授)
- 67 家 正則 (自然科学研究機構国立天文台教授)
- 68 大津 元一 (東京大学大学院工学系研究科教授)
- 69 菊池 誠 (大阪大学サイバーメディアセンター教授)
- 70 坪田 誠 (大阪市立大学大学院理学研究科教授)
- 71 馬場 嘉信 (名古屋大学大学院工学研究科教授)
- 72 山本 智 (東京大学大学院理学系研究科教授)
- 73 高橋 利宏 (学習院大学理学部教授)
- 74 久我 隆弘 (東京大学大学院総合文化研究科教授)
- 75 樋口 直樹 (サントリー水科学研究所) 興水 精一 (サントリーチーフブレンダー)
- 76 齋藤理一郎 (東北大学大学院理学研究科教授)
- 77 佐藤健太郎 (サイエンスライター)
- 78 腰原 伸也 (東京工業大学フロンティア研究センター教授)
- 79 桑島 邦博 (岡崎統合バイオサイエンスセンター教授)
- 80 児玉 忠恭 (国立天文台台外研究部准教授)
- 81 富山 和子 (日本福祉大学教授)
- 82 東久保和雄 (資生堂リサーチセンター)

2010年

- 83 西 信之 (分子科学研究所教授)
- 84 伊藤 公孝 (核融合科学研究所教授)
- 85 大峯 巖 (分子科学研究所長)
- 86 大島 正裕 (田辺三菱製薬株式会社・CMC研究センター CMC保証部長)
- 87 川口淳一郎 (宇宙航空研究開発機構教授、「はやぶさ」プロジェクトマネージャー)
- 88 益川 敏英 (名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構長)
- 89 佐藤 勝彦 (自然科学研究機構長)
- 90 渡 淳二 (サッポロビール株式会社取締役執行役員)
- 91 中垣 俊之 (公立ほこだて未来大学教授)
- 92 平本 昌宏 (分子科学研究所教授)
- 93 鈴木 章 (北海道大学名誉教授)
- 94 村山 齊 (東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構機構長)
- 95 秋山 修志 (分子研教授) 平等 拓範 (分子研准教授) 正岡 重行 (分子研准教授)
- 96 宮島 清一 (宮島醤油株式会社 代表取締役社長)
- 97 尾関 章 (朝日新聞科学記者) 古田 彩 (日経サイエンス記者)
- 98 木下 修一 (大阪大学大学院生命機能研究科教授)
- 99 加藤 晃一 (岡崎統合バイオサイエンスセンター教授)
- 100 藤嶋 昭 (東京理科大学学長)